

証券コード：4635

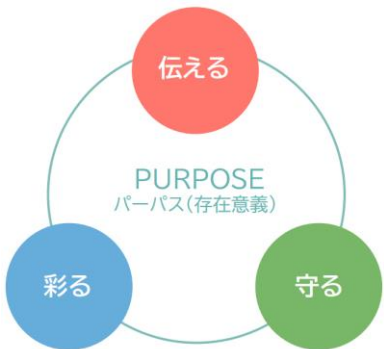
東証スタンダード市場

TOKYOink

東京インキ株式会社

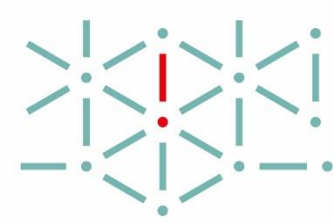
2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算補足説明資料

(2024年11月7日決算発表)



「伝える」
「彩る」
「守る」ことで、
豊かな未来を実現する





目次

1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト P2 ~ P5
2. 25年3月期第2四半期(中間期) 第2四半期連結業績予想と実績との差異(24年5月14日公表値比) P6
3. 25年3月期第2四半期(中間期) セグメント別業績サマリー P7 ~ P11
4. 25年3月期第2四半期(中間期) その他連結決算情報 P12 ~ P13
5. 持続的な企業価値向上に向けた取り組み(経営目標) P14 ~ P15
6. 株主還元 P16
7. 参考情報 P17 ~ P19

1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

● 増収減益の決算

- ✓ 前年度より各事業の取引条件が改善され、**売上高は増収、営業利益は増益**
- ✓ 米国連結子会社の出資金運用損計上、外貨建資産における為替評価影響等により、**経常利益は減益**
- ✓ 政策保有株式の売却益による増益効果はあるものの、経常利益の減益要因により**親会社株主に帰属する中間純利益は減益**

	24年3月期2Q 23/9	構成比 (%)	25年3月期2Q 24/9	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	2Q(中間期) 業績予想 24年10月25日公表値	業績予想 増減額	増減率 (%)
売上高	21,267	100.0	22,257	100.0	+990	+4.7	22,200	+57	+0.3
売上原価	18,167	85.4	19,092	85.8	+924	+5.1	-	-	-
売上総利益	3,099	14.6	3,165	14.2	+65	+2.1	-	-	-
販売費及び一般管理費	2,846	13.4	2,897	13.0	+51	+1.8	-	-	-
営業利益	253	1.2	267	1.2	+14	+5.5	260	+7	+3.0
営業外損益	245	1.2	22	0.1	▲ 222	▲ 90.7	-	-	-
経常利益	499	2.3	290	1.3	▲ 208	▲ 41.8	290	+0	+0.2
特別損益	64	0.3	124	0.6	+59	+92.5	-	-	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	383	1.8	304	1.4	▲ 78	▲ 20.4	300	+4	+1.6

1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

売上高

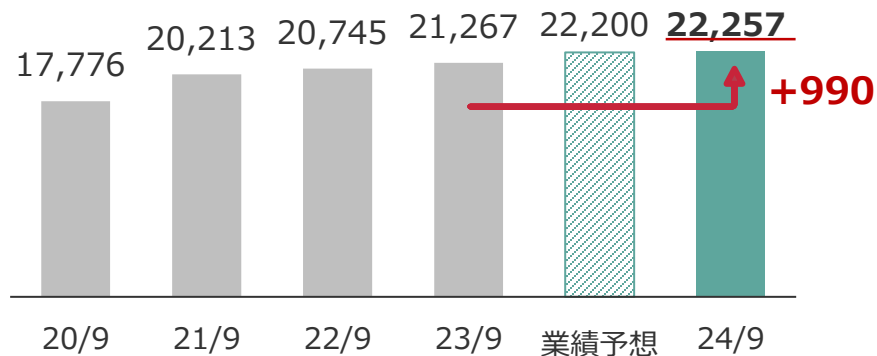
22,257百万円

前年同中間期比 **+990**百万円 (+4.7%)

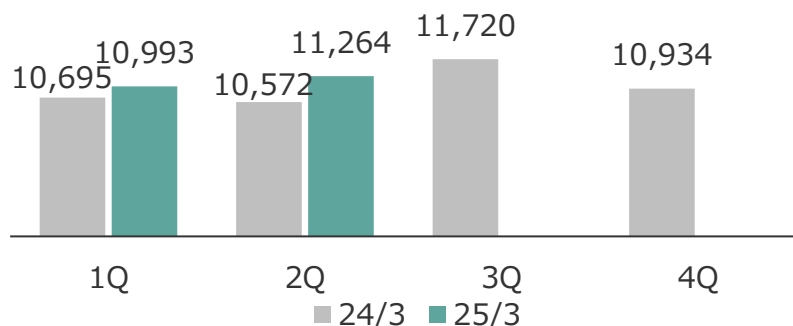
2Q(中間期)業績予想比 **+57**百万円 (+0.3%)

(※)

●売上高 5年推移

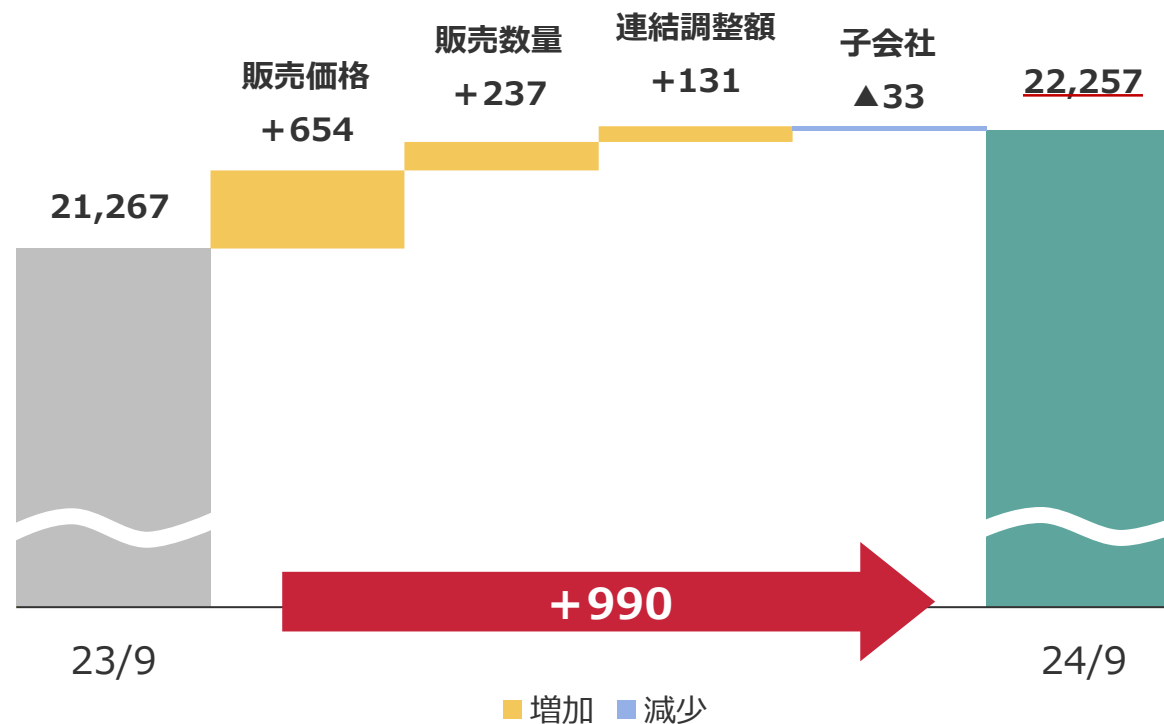


●前年比 四半期推移



前年同中間期比 増減要因

- ✓ 原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対する製品価格改定効果による増収、特に化成品事業が大きく寄与
- ✓ インキ事業における重要顧客への販売活動強化による販売数量増



1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト

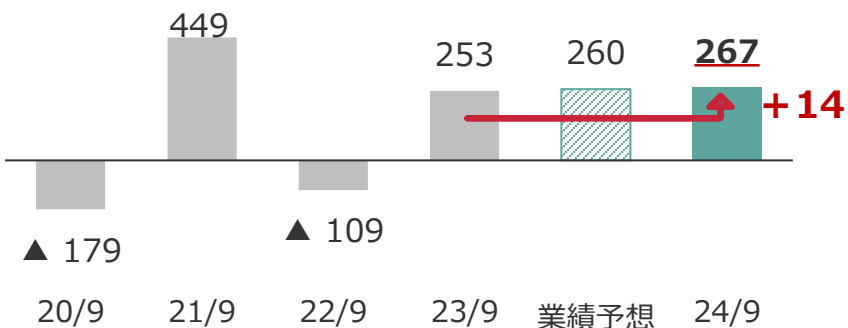
(単位：百万円)

営業利益

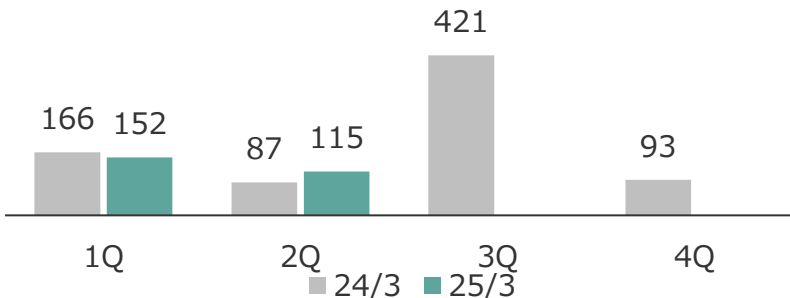
前年同中間期比
2Q(中間期)業績予想比
(※)

267百万円
+14百万円(+5.5%)
+7百万円(+3.0%)

●営業利益 5年推移

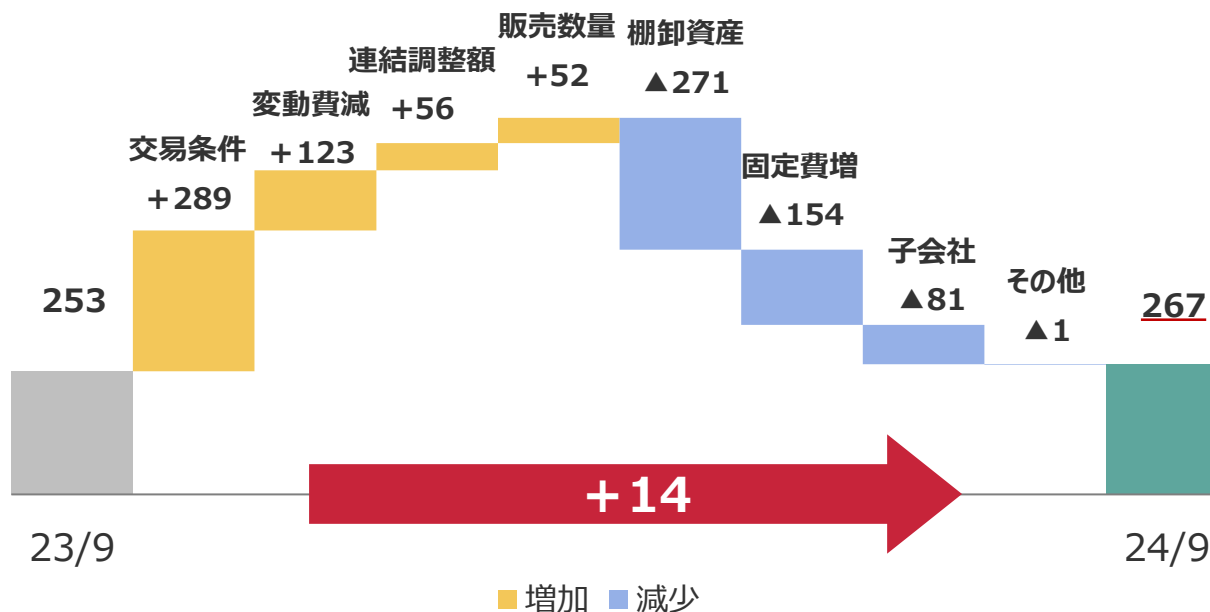


●前年比 四半期推移



前年同中間期比 増減要因

- ✓ 原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対する製品価格改定効果により、特にインキ事業、化成品事業における取引条件が改善
- ✓ 加工品事業のネトロン工材・包材における生産体制の再構築に伴い、外注加工費等の変動費減少も、一方では棚卸資産の減少による影響や一時的な固定費増加



1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

前年同中間期比 増減要因

- ✓ 政策保有株式の縮減を進めたことにより、特別利益は増加するも、米国連結子会社の出資金運用損計上による営業外費用増加、外貨建資産における為替評価益等の営業外収益減少により、**経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は減益**

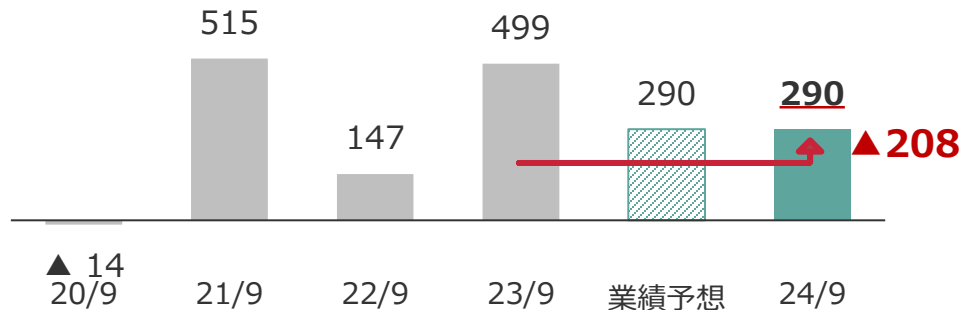
経常利益

290百万円

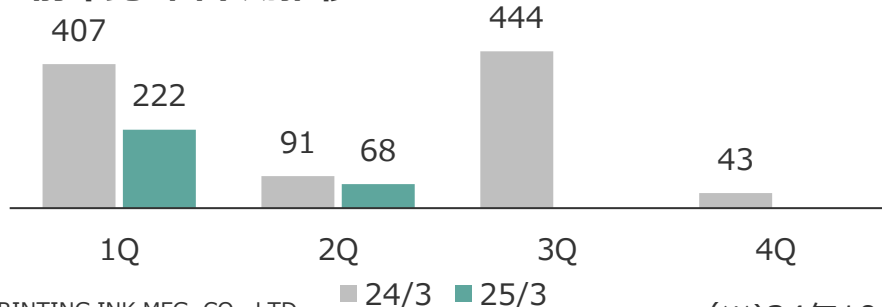
前年同中間期比 **▲208**百万円 (▲41.8%)

2Q(中間期)業績予想比 **+0**百万円 (+0.2%)
(※)

●経常利益 5年推移



●前年比 四半期推移



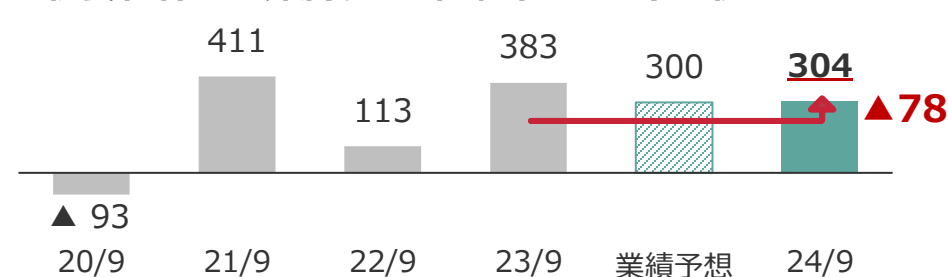
親会社株主に帰属する 中間純利益

304百万円

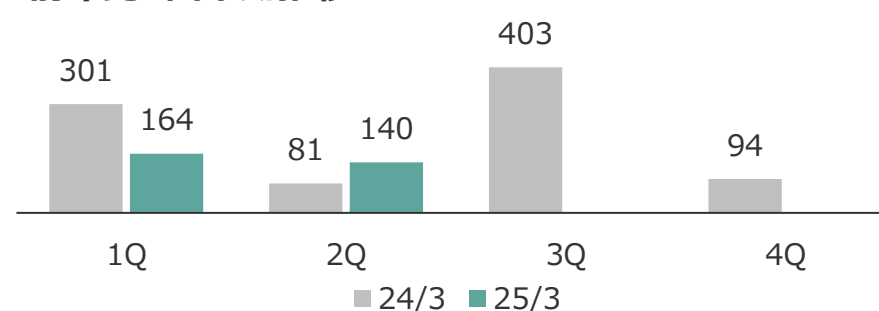
前年同中間期比 **▲78**百万円 (▲20.4%)

2Q(中間期)業績予想比 **+4**百万円 (+1.6%)
(※)

●親会社株主に帰属する中間純利益 5年推移



●前年比 四半期推移



2. 25年3月期第2四半期(中間期) 第2四半期連結業績予想と実績との差異(24年5月14日公表値比)

(単位：百万円)

●当初(24年5月14日)公表値との差異

	【当初】 24年5月14日 公表値 (A)	【修正】 24年10月25日 公表値 (B)	【実績】 25年3月期 2Q(中間期) (C)	差額 (C)-(A)
売上高	22,000	22,200	22,257	+257
営業利益	350	260	267	▲82
経常利益	280	290	290	+10
親会社株主に帰属する 中間純利益	200	300	304	+104

●差異要因

売上高

加工品事業のネトロン工材・包材において、原材料メーカーのプラント事故の影響で材料供給が不安定になったことによる販売数量の減少はあるも、インキ事業における重要顧客への販売活動強化による販売数量の増加により、当初公表値を上回る結果

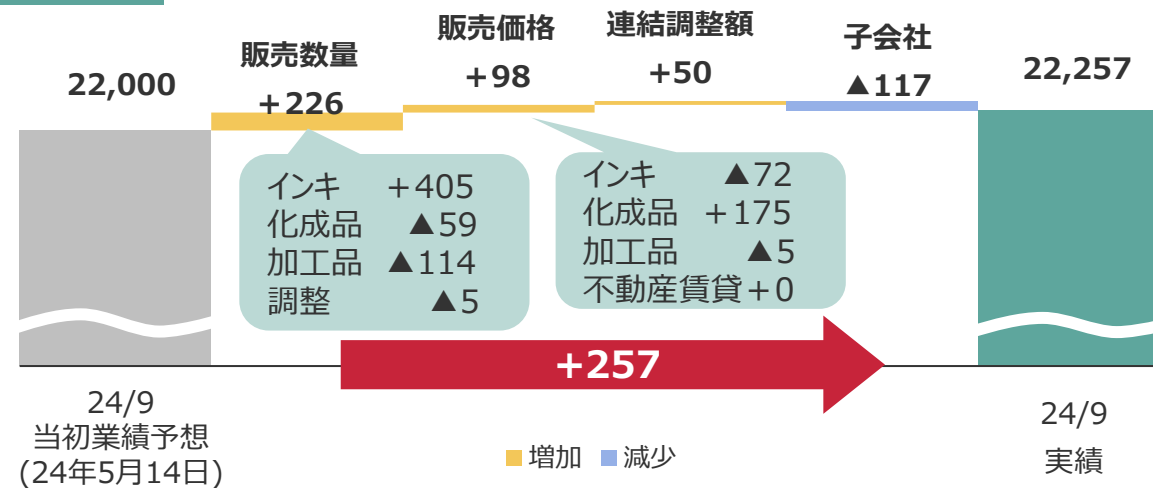
営業利益

加工品事業のネトロン工材・包材における減収要因や、同製品の生産体制再構築の影響による棚卸資産の減少等で当初公表値を下回る結果

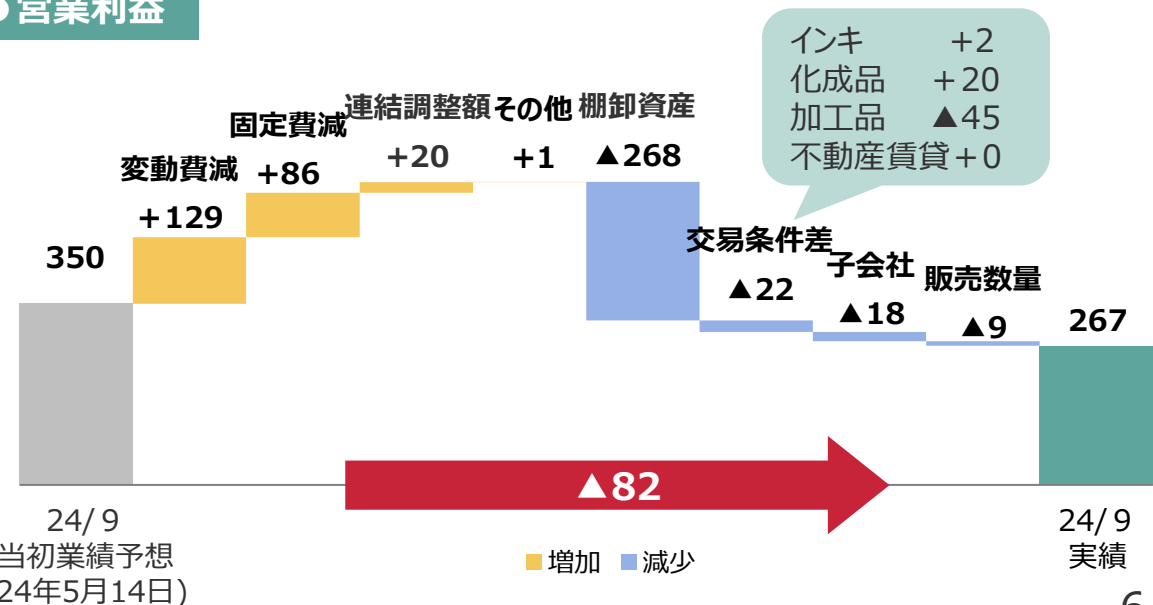
親会社株主に帰属する 中間純利益

政策保有株式の縮減を進めたことによる投資有価証券売却益の計上により当初公表値を上回る結果

●売上高



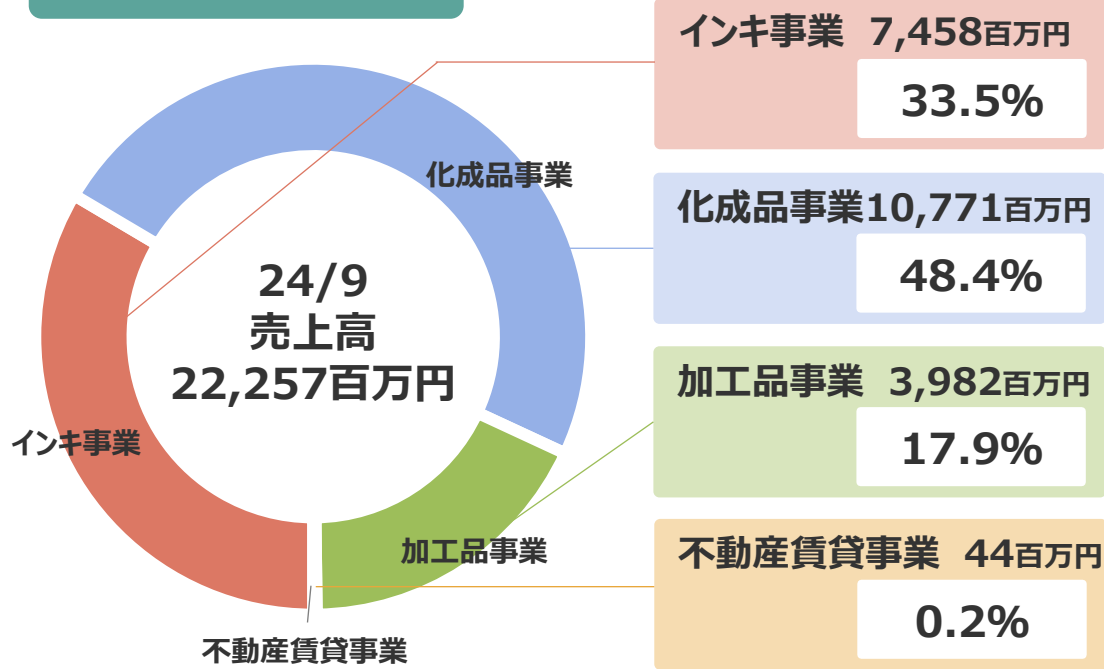
●営業利益



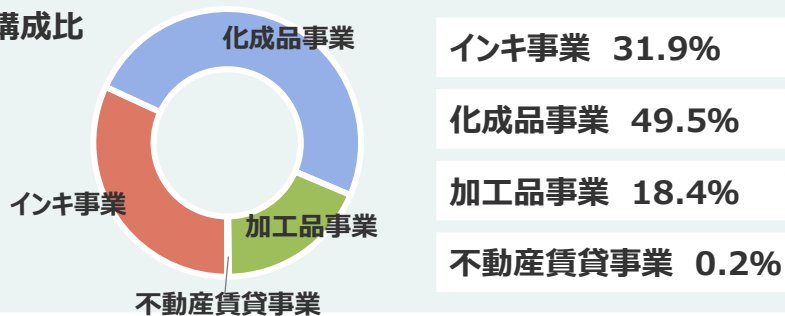
3. 25年3月期第2四半期(中間期) セグメント別業績サマリー

(単位：百万円)

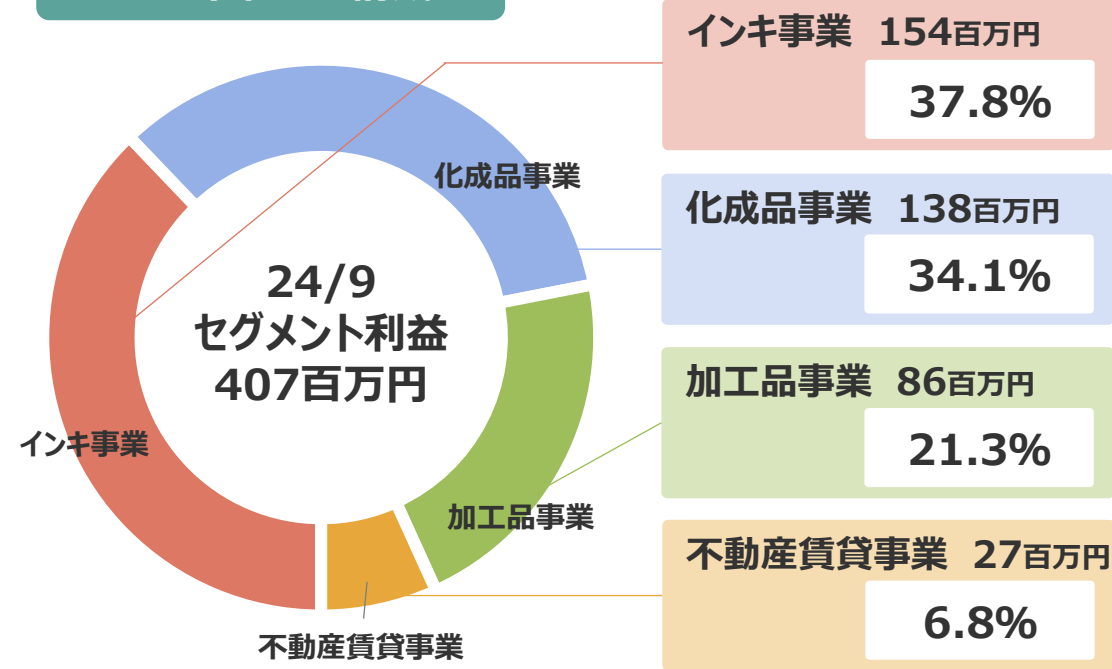
売上高 構成比



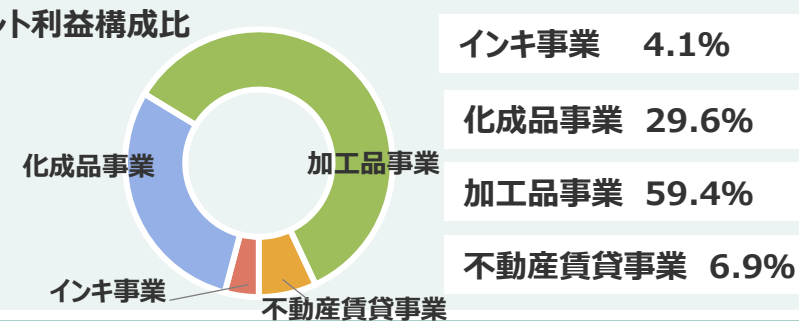
【参考】23/9売上高構成比



セグメント利益 構成比



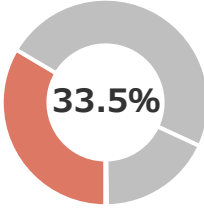
【参考】23/9セグメント利益構成比



3. 25年3月期第2四半期(中間期) インキ事業


(単位：百万円)


前年同中間期比
売上高 7,458百万円 **+678**百万円 (**+10.0%**)
セグメント利益 154百万円 **+137**百万円 (**+831.4%**)

売上高構成比
 33.5%

業績影響


■ オフセットインキ

重要顧客への販売強化 

製品販売価格改定（前年度実施） 


■ グラビアインキ

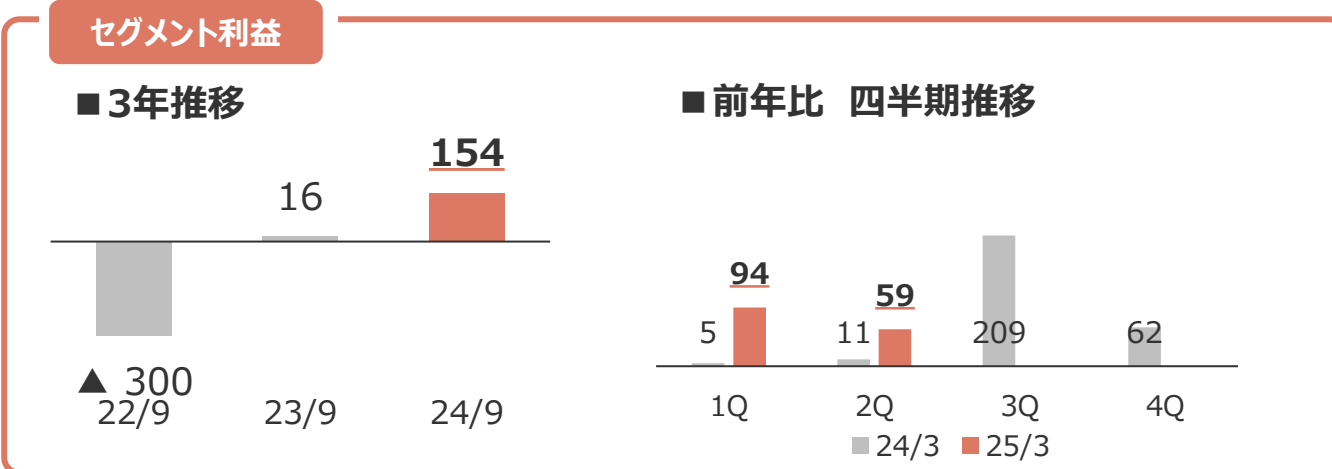
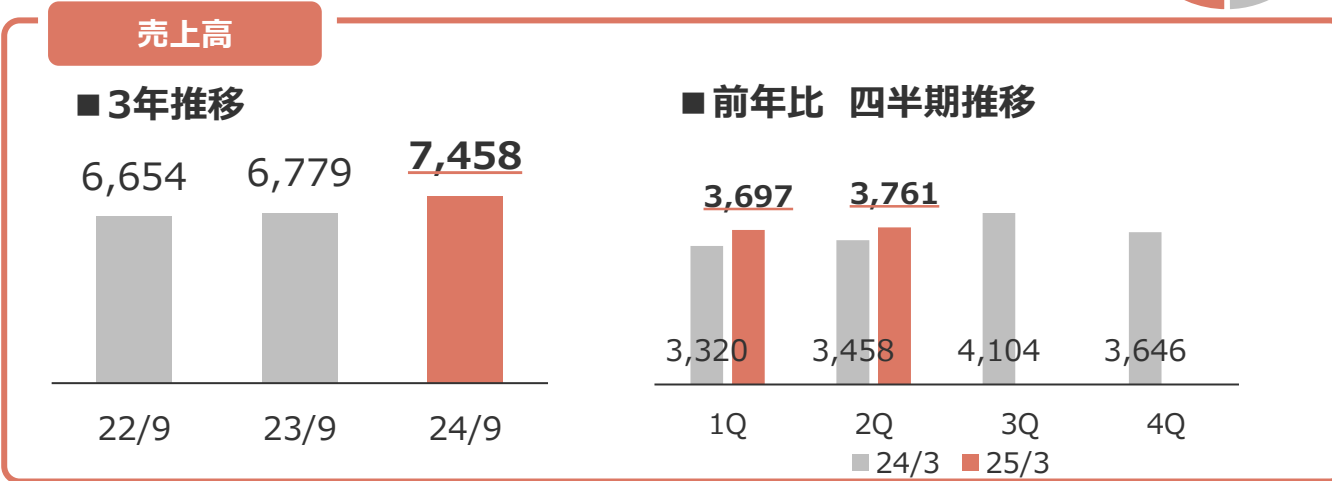
投資に伴う減価償却費増 

機能性製品需要 

■ インクジェットインク

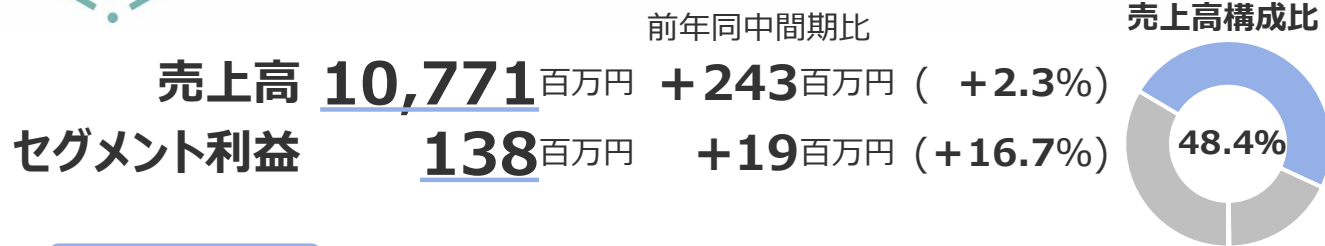
自社製品 

受託製品
海外向け需要 

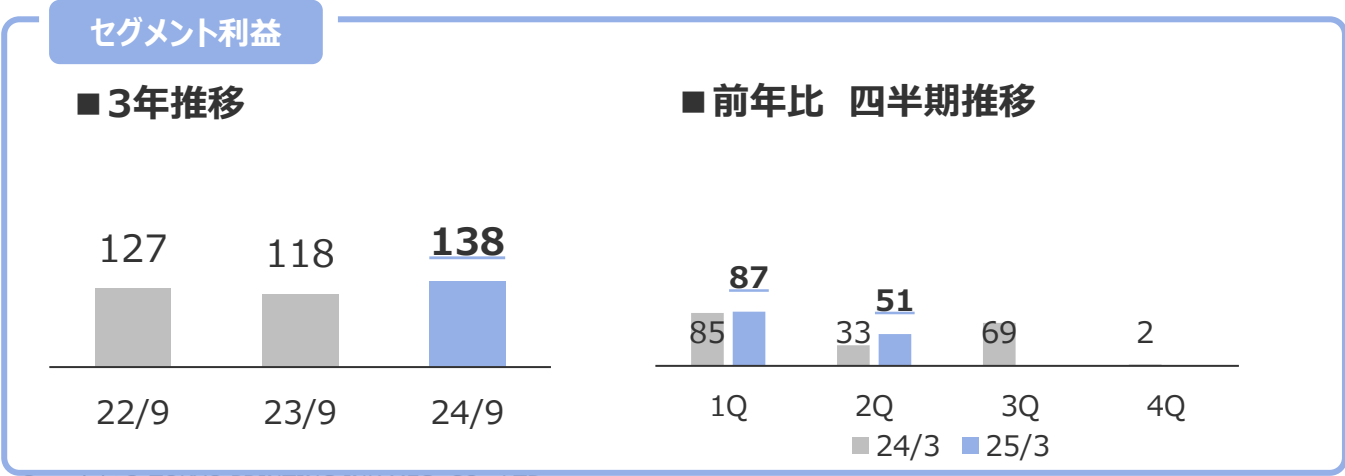
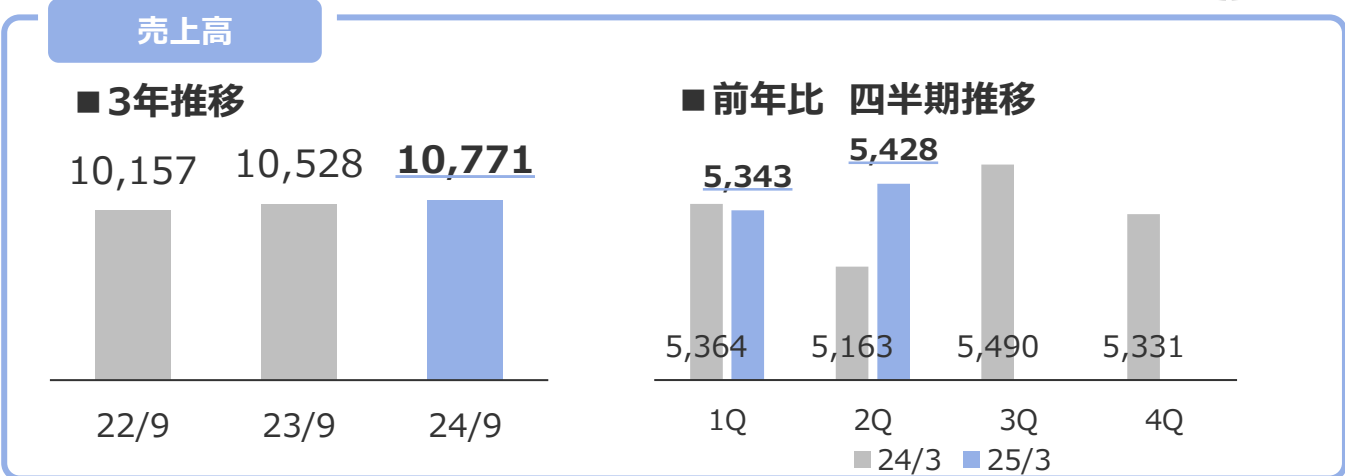


3. 25年3月期第2四半期(中間期) 化成品事業

(単位：百万円)



業績影響	
■ マスターバッチ・樹脂コンパウンド	
自社製品	
フィルム・容器用途向け製品需要	↗
自動車用途向け製品需要	→
受託製品	
顧客における在庫調整影響	↘

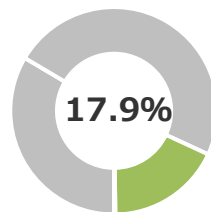


3. 25年3月期第2四半期(中間期) 加工品事業

(単位：百万円)

前年同中間期比
売上高 3,982百万円 **+67**百万円 (**+1.7%**)
セグメント利益 86百万円 **▲151**百万円 (**▲63.7%**)

売上高構成比



業績影響

■ ネットロン工材・包材

原材料供給不安定 (プラント事故)

生産体制再構築に伴う経費増

■ 一軸延伸フィルム

産業用途フィルム需要

一部製品の採算性低下

■ 土木資材

防災・減災用途 (ジオセル工法) 需要

一般土木製品需要

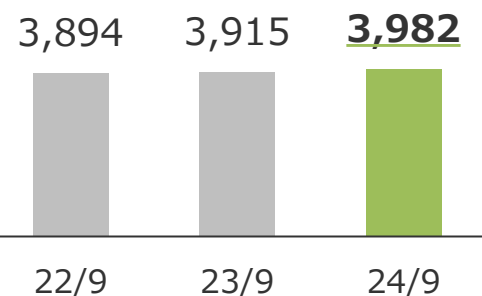
■ 農業資材

高機能製品 (保温資材等) 需要

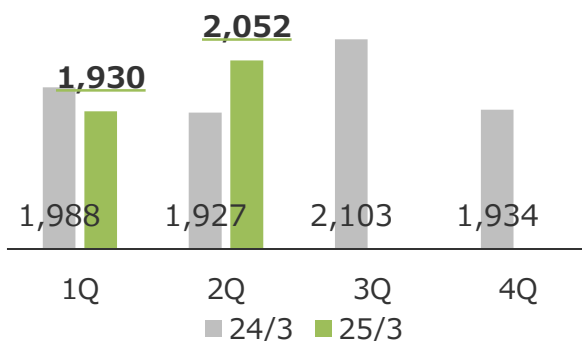


売上高

■ 3年推移

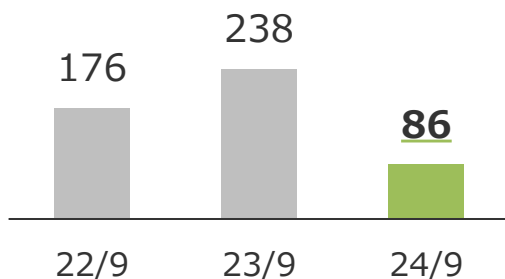


■ 前年比 四半期推移

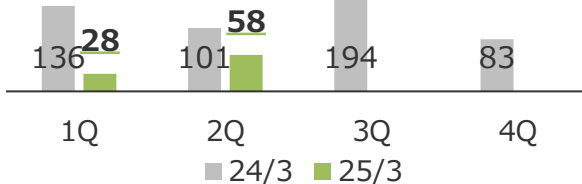


セグメント利益

■ 3年推移



■ 前年比 四半期推移



3. 25年3月期第2四半期(中間期) 不動産賃貸事業

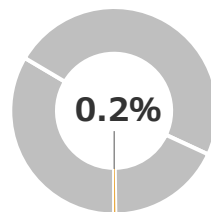
(単位：百万円)

売上高
セグメント利益

44百万円 (+0.6%)
27百万円 (▲1.2%)

前年同中間期比

売上高構成比



業績影響

貸戸建て住宅「パレットパークタウン」

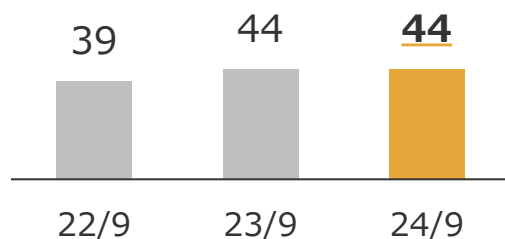


本社ビル賃貸オフィス

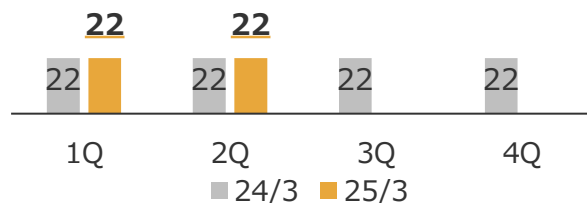


売上高

3年推移

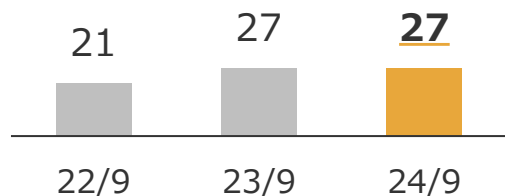


前年比 四半期推移

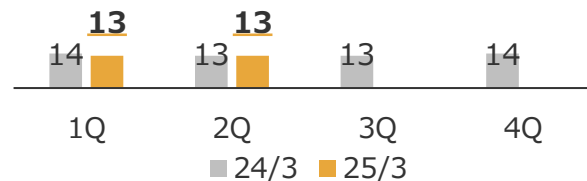


セグメント利益

3年推移



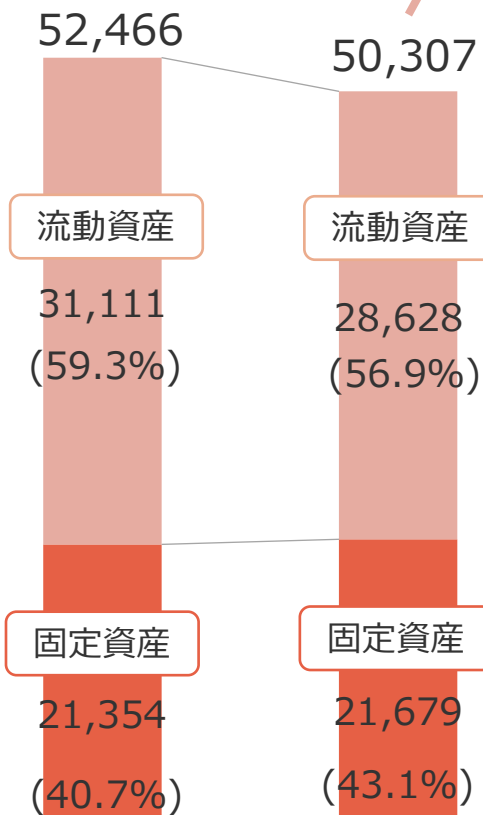
前年比 四半期推移



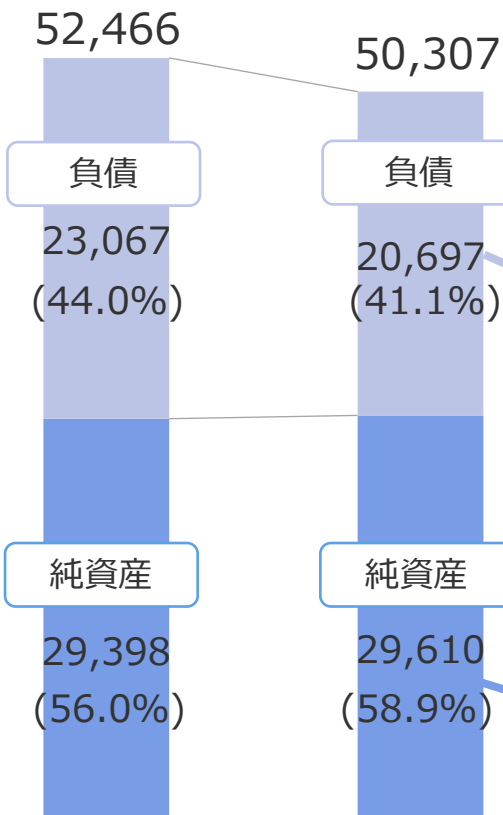
(単位：百万円)

✓ 連結貸借対照表

●資産の部



●負債・純資産の部



資産

前期末比▲2,158百万円 (▲4.1%)

- 流動資産
 - ・資産効率化による手持現預金等の見直し
 - ・前期末が月末休日の影響による売上債権減少
 - ・棚卸資産の減少
- 固定資産
 - ・設備投資による有形固定資産の増加

負債

前期末比▲2,370百万円 (▲10.3%)

- 流動負債
 - ・前期末が月末休日の影響による仕入債務減少
- 固定負債
 - ・長期借入金約定返済による減少

純資産

前期末比+211百万円 (+0.7%)

- ・円安による為替換算調整勘定増加

24/3

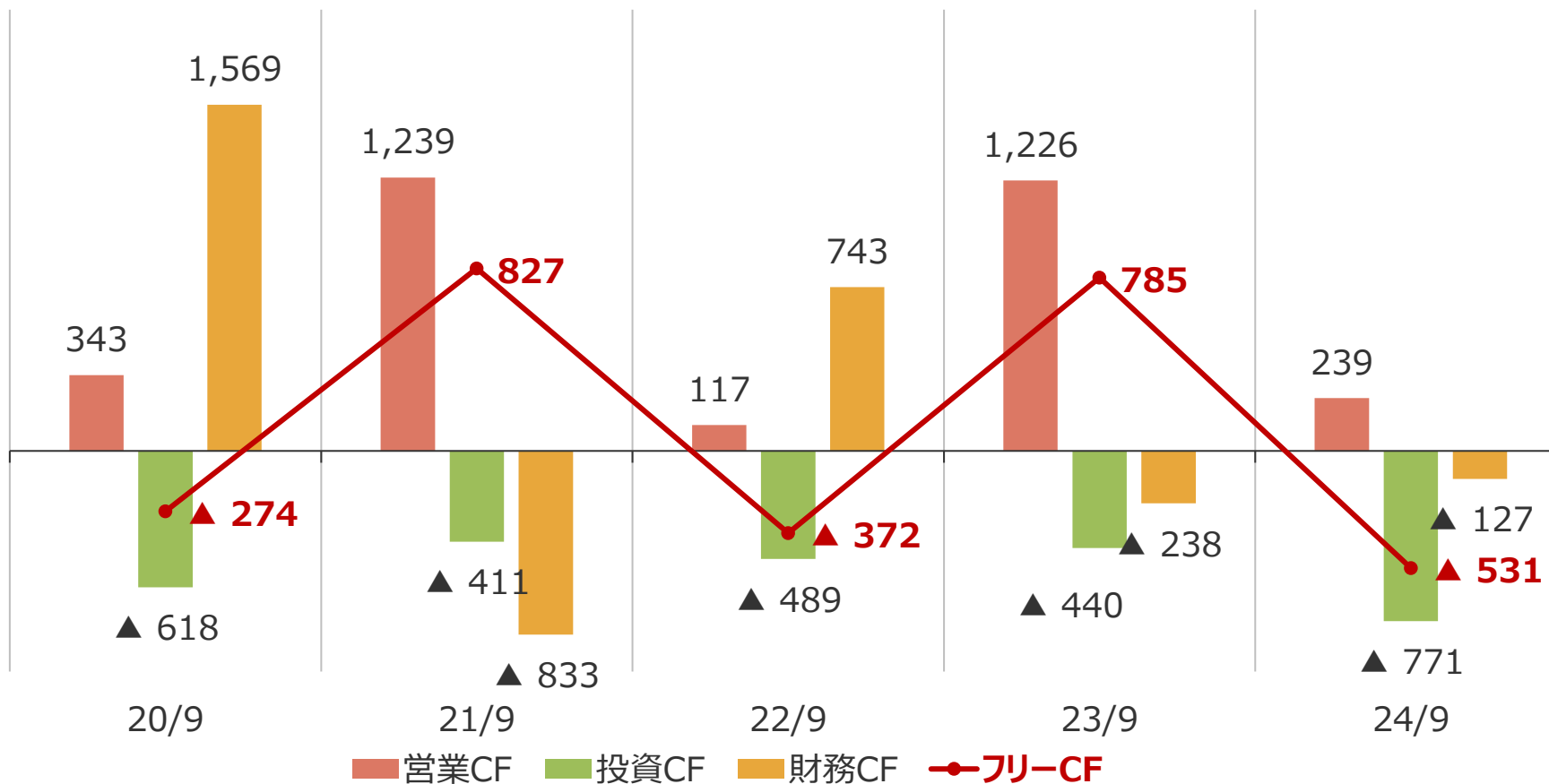
24/9

24/3

24/9

✓ 連結キャッシュ・フロー

- 前年度は、十分な利益を確保出来た事により営業CF 大幅なプラス、結果、フリーCFプラス
- 当年度は、月末休日の影響や設備投資額の増加により、フリーCFはマイナス

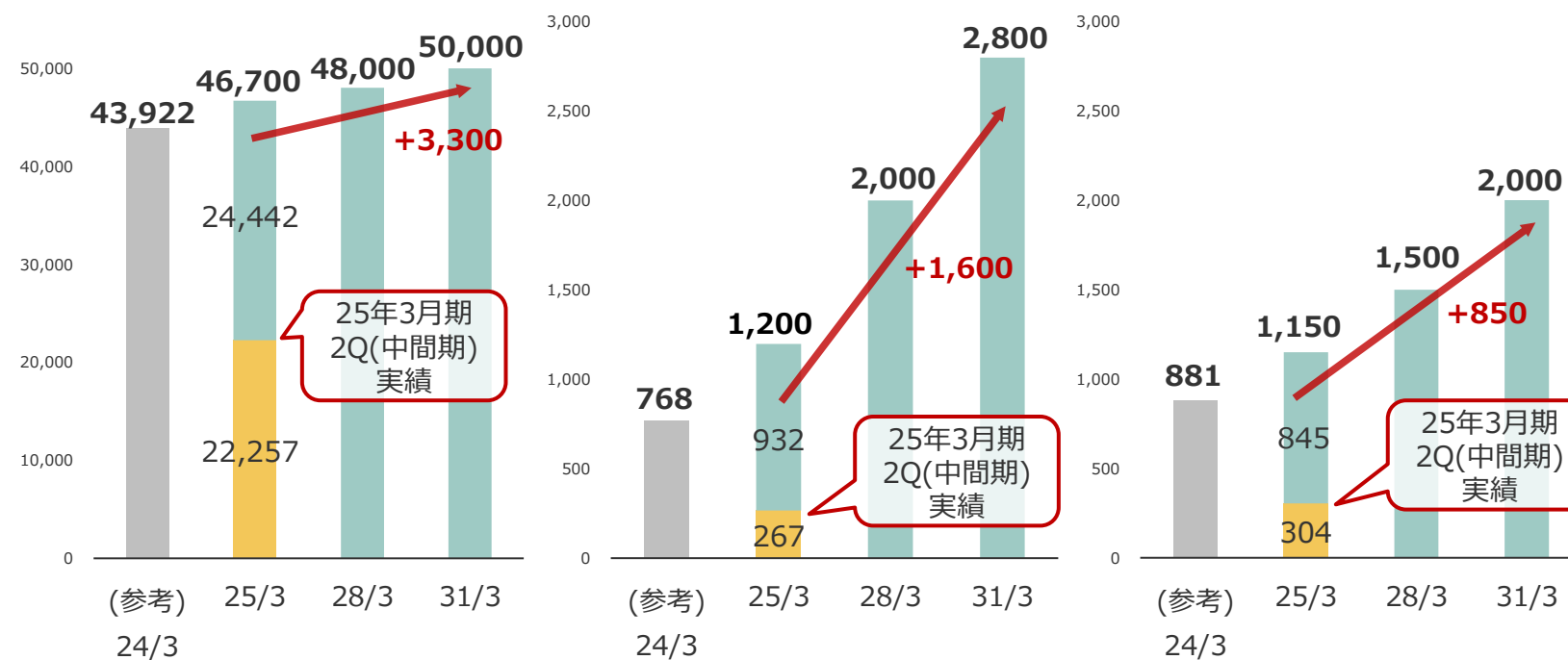


5. 持続的な企業価値向上に向けた取り組み（経営目標）

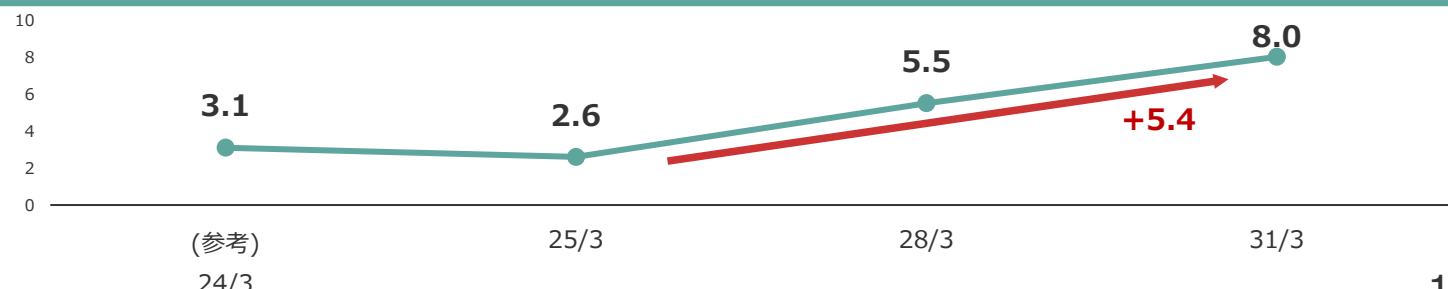
(単位：百万円、%)

- 24年5月30日に持続的な企業価値向上に向けた取り組みについて開示
- 長期ビジョン「TOKYOink Vision2030」の最終年度である31年3月期までに、営業利益28億円、当期純利益20億円、ROE8.0%以上、自己資本250億円の経営目標を設定

売上高 目標値 営業利益 目標値 当期純利益 目標値



ROE 目標値

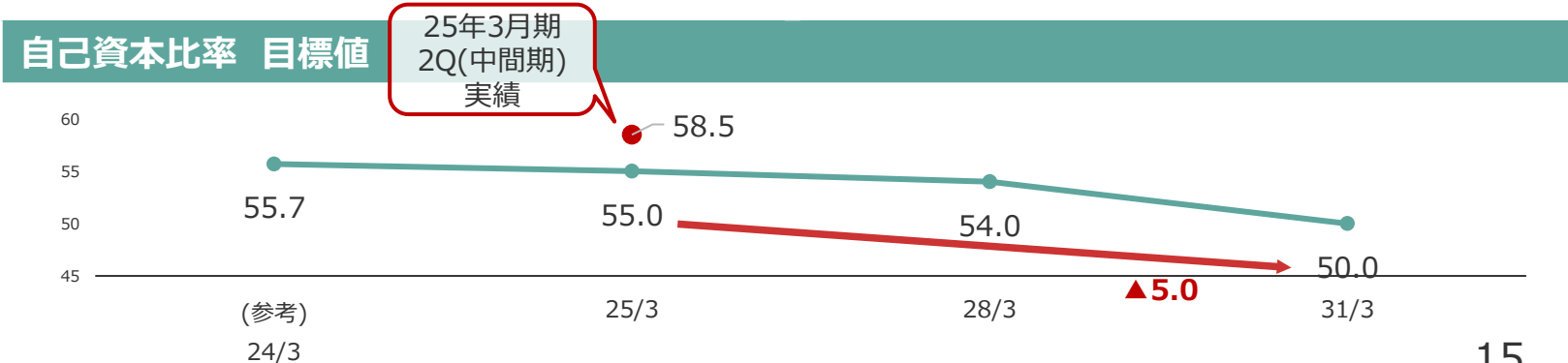
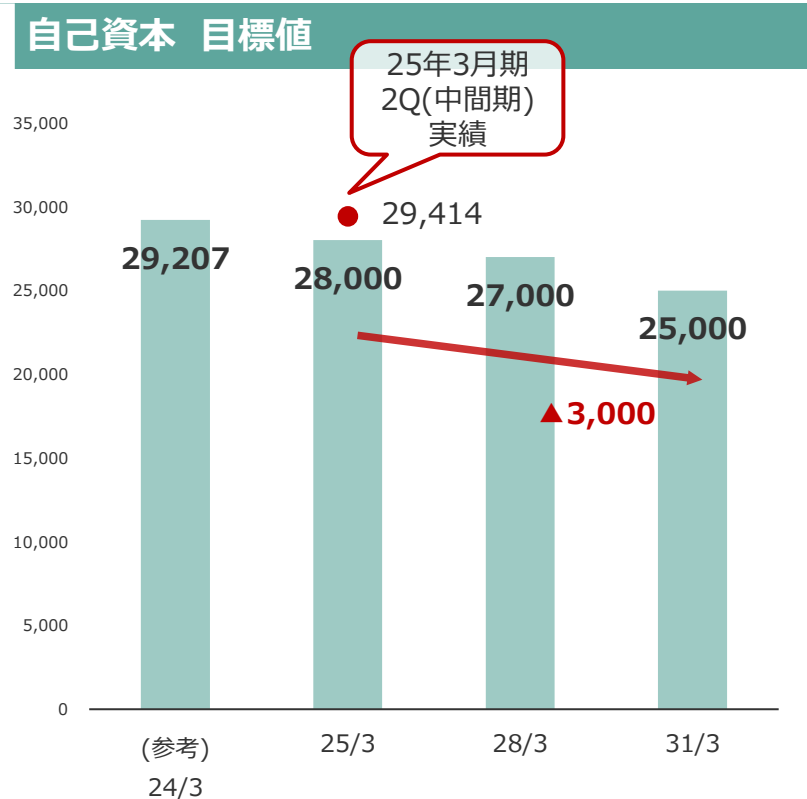
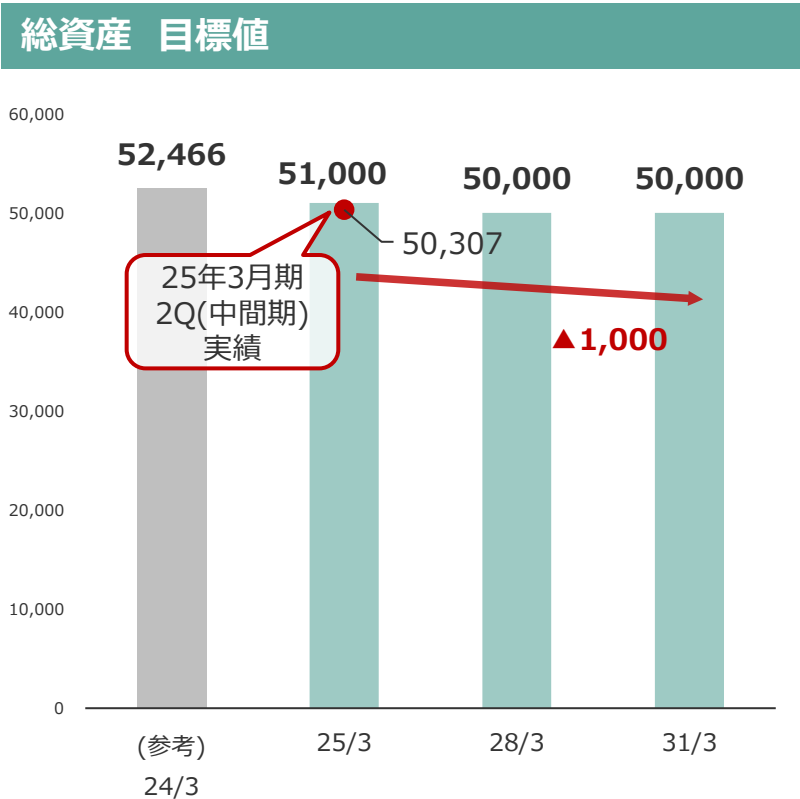


経営目標 (KPI)			
項目	25年3月期 TOKYOink 2024 【飛躍への準備】	28年3月期 TOKYOink 2027 【変革の実践】	31年3月期 TOKYOink 2030 【新たな価値の創出】
売上高 (百万円)	46,700	48,000	50,000
営業利益 (百万円)	1,200	2,000	2,800
当期純利益 (百万円)	1,150	1,500	2,000
ROE (%)	2.6	5.5	8.0

5. 持続的な企業価値向上に向けた取り組み（経営目標）

(単位：百万円、%)

経営目標 (KPI)			
項目	25年3月期 TOKYOink 2024 【飛躍への準備】	28年3月期 TOKYOink 2027 【変革の実践】	31年3月期 TOKYOink 2030 【新たな価値の創出】
総資産 (百万円)	51,000	50,000	50,000
自己資本 (百万円)	28,000	27,000	25,000
自己資本比率 (%)	55.0	54.0	50.0



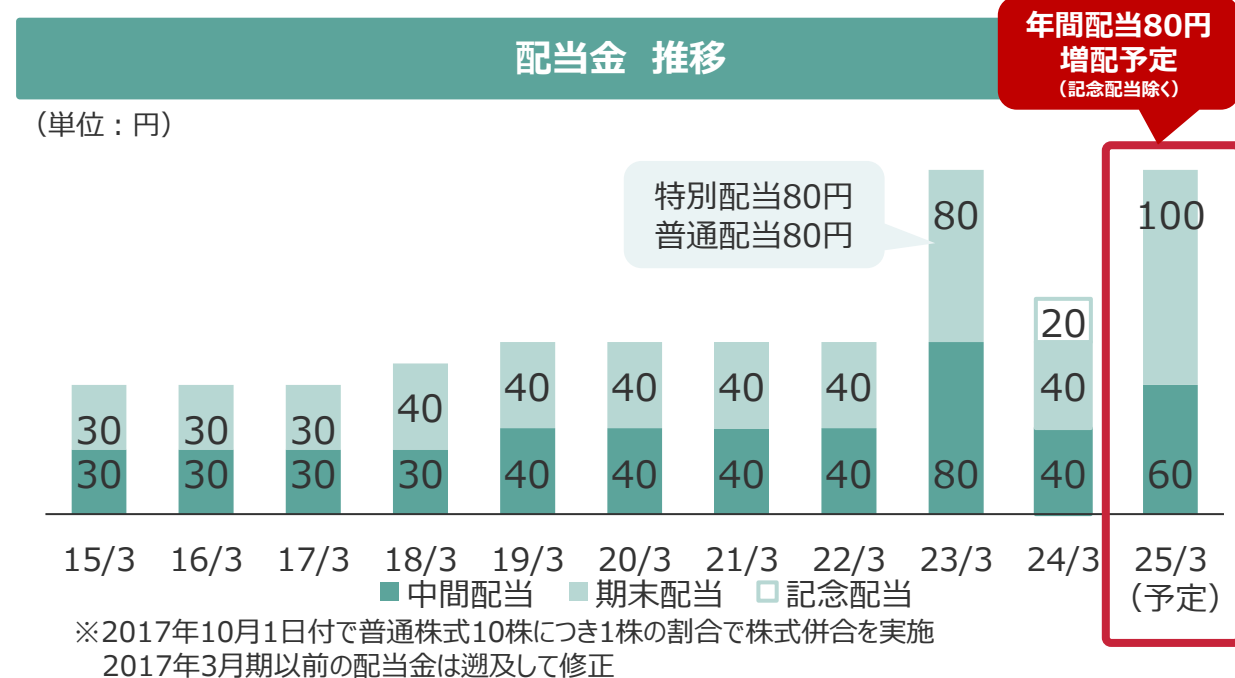
6. 株主還元

25年3月期 年間配当は80円増配を予定 (記念配当を除く)

配当方針

- 株主価値を中長期的に高めるために、持続的な成長が必要と考え、「資本効率の向上」、「強固な財務基盤の確保」、「株主還元」の3つのバランスを取ることを資本政策の基本としており、安定的かつ継続的な配当実施を基本方針として連結業績に応じた利益配分を踏まえ持続的な株主価値の向上に努めてまいります。
- また、中期経営計画「TOKYOink 2024」における配当方針として配当性向30%以上を目標としておりますが、更なる株主価値向上への取組みとして「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」において、配当性向40%以上またはDOE1.0%以上とする新たな配当方針を策定いたしました。
- 25年3月期の期末配当予想は、上記方針と通期業績予想修正（24年10月25日公表）を踏まえ、1株当たり100円を予定しております。**
⇒詳細は24年11月7日開示「2025年3月期 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

	25年3月期（予定）	24年3月期比
中間配当	普通配当 1株当たり 60円	+20円
期末配当	普通配当 1株当たり 100円	+60円
年間配当 (記念配当除く)	160円	+80円

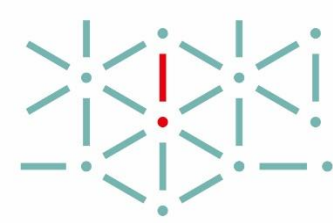


7. 参考情報 25年3月期第2四半期(中間期) 事業別セグメント情報 売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

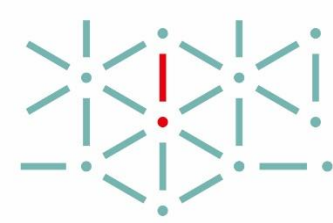
報告セグメント	売上高				セグメント利益			
	24年3月期2Q 23/9	25年3月期2Q 24/9	増減額	増減率 (%)	24年3月期2Q 23/9	25年3月期2Q 24/9	増減額	増減率 (%)
インキ事業	6,779	7,458	+678	+10.0	16	154	+137	+831.4
化成品事業	10,528	10,771	+243	+2.3	118	138	+19	+16.7
加工品事業	3,915	3,982	+67	+1.7	238	86	▲151	▲63.7
不動産賃貸事業	44	44	+0	+0.6	27	27	▲0	▲1.2
セグメント合計	21,267	22,257	+990	+4.7	401	407	+5	+1.3
全社費用他 ※					▲147	▲139	+8	-
連結営業利益					253	267	+14	+5.5

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費



7. 参考情報 25年3月期第2四半期(中間期) 連結貸借対照表

	24年3月期末 24/3	25年3月期2Q 24/9	増減額	増減率 (%)
流動資産	31,111	28,628	▲2,483	▲8.0
固定資産	21,354	21,679	+324	+1.5
有・無形固定資産	12,943	13,342	+399	+3.1
投資その他	8,410	8,336	▲74	▲0.9
資産合計	52,466	50,307	▲2,158	▲4.1
流動負債	18,105	16,444	▲1,660	▲9.2
固定負債	4,962	4,252	▲710	▲14.3
負債合計	23,067	20,697	▲2,370	▲10.3
純資産合計	29,398	29,610	+211	+0.7
(自己資本比率)	55.67%	58.47%	+2.80%	-
負債・純資産合計	52,466	50,307	▲2,158	▲4.1



7. 参考情報 25年3月期第2四半期(中間期) 連結キャッシュ・フロー計算書

摘要	24年3月期2Q 23/9	25年3月期2Q 24/9	増減額
I.営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	1,226	239	▲986
II.投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲440	▲771	▲330
フリーキャッシュ・フロー(A+B)	785	▲531	▲1,317
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	▲238	▲127	+111
現金同等物の期首残高	3,374	3,734	+360
現金同等物の期末残高	3,974	3,176	▲798



TOKYOink

東京インキ株式会社

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。

【お問合せ先】 東京インキホームページお問い合わせフォーム
<https://www.tokyoink.co.jp/contact/>



東京インキ株式会社
TEL : 03-5902-7652
E-mail : tic-ir@tokyoink.co.jp

これからも、彩る世界をあなたと共に

